

「薬局の求められる機能とあるべき姿」について

- 近年の社会情勢の変化を踏まえた望ましい形のかかりつけ薬局を推進するための指針として、厚生労働科学研究事業※により「薬局の求められる機能とあるべき姿」がとりまとめられた(平成26年1月 日本医療薬学会公表)。

※ 「薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究」(主任研究者:安原真人・東京医科歯科大学医学部附属病院薬剤部教授、一般社団法人日本医療薬学会会頭)

- **主な内容**

【薬局・薬剤師に求められる機能に関する基本的な考え方】

1. 最適な薬物療法を提供する**医療の担い手**としての役割が期待
 2. 医療の質の確保・向上や医療安全の確保の観点から、**医療機関等と連携してチーム医療**を積極的に取り組むことが求められる
 3. 在宅医療において、**地域における医薬品等の供給体制や適切な服薬支援を行う体制の確保・充実に取り組むべき**
 4. 医薬品や医療・衛生材料等の提供拠点としての役割に留まらず、**後発医薬品の使用促進や残薬解消といった医療の効率化**について、より積極的な関与も求められる
 5. セルフメディケーションの推進のために、**地域に密着した健康情報の拠点**として積極的な役割を發揮すべき
 6. 患者の治療歴のみならず、**生活習慣も踏まえた全般的な薬学的管理**に責任を持つべき
- ⇒ 基本的な考え方の下、薬局が備えるべき基本的体制及び薬学的管理の在り方について、確保すべき又は取り組むべき項目を示している。

※ 一般社団法人日本医療薬学会 「薬局の求められる機能とあるべき姿」の公表について

<http://www.jsphcs.jp/cont/14/0107-1.html>

薬局に求められる主要要件

1. 基本的な体制に関するもの

【許可】

- 麻薬の小売
- 医療機器の販売

【開局時間】

- 日中8時間以上
- 休日や夜間対応

【備蓄・供給】

- 地域ニーズに応じた医薬品(一般用医薬品、要指導医薬品含む)
- 医療、衛生材料
- 介護用品

【構造・設備】

- バリアフリー
- プライバシー配慮
- 全面禁煙
- 無菌調剤設備

【地域医療】

- 地域保健医療への貢献
- 災害時の医薬品の供給拠点機能

【人的機能】

- 生涯学習への積極的な取組

2. 薬物療法・薬学的管理に関するもの

【薬学的管理】

- 残薬確認、残薬解消の取組
- 定期的な服薬状況、副作用等の確認

【在宅医療】

- 在宅での薬剤管理指導
- 他職種との情報共有、連携

【後発品】

- 数量シェア6割以上

【健康情報拠点】

- 健康や介護、生活習慣全般等に関する相談応需

【その他】

- 副作用等の報告